

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-210497

(P2000-210497A)

(43) 公開日 平成12年8月2日(2000.8.2)

(51) Int.Cl.⁷

D 0 6 F 57/00

識別記号

3 7 0

F I

D 0 6 F 57/00

テーマコード(参考)

3 7 0

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平11-14770

(22) 出願日 平成11年1月22日(1999.1.22)

(71) 出願人 000002462

積水樹脂株式会社

大阪府大阪市北区西天満2丁目4番4号

(72) 発明者 奥田 浩司

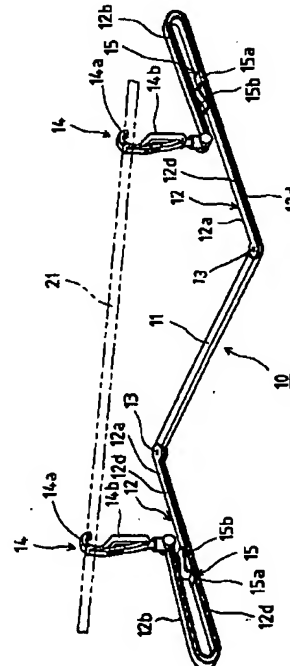
大阪府枚方市出口1丁目3番23号 積水樹脂株式会社内

(54) 【発明の名称】 ハンガー

(57) 【要約】

【課題】 シーツ等のシート状の洗濯物を、汚すことなく、容易に吊り下げることができる。

【解決手段】 直線状に延びる連結ロッド11の各端部に、側部ロッド12の一方の端部がそれぞれ回動可能に取り付けられている。各側部ロッド12には、連結ロッド11とほぼ等しい長さのロッド本体部12aと、各ロッド本体部12aにおける連結ロッド11の遠方側にて180°にわたって屈曲されて、各ロッド本体部12aに沿った状態のアーム部12bとがそれぞれ一体的に設けられている。各アーム部12bの先端部は、各ロッド本体部12aの長手方向中央部に位置されており、その先端部にフック部材14が取り付けられている。各側部ロッド12のロッド本体部12aには、シーツの側縁部をロッド本体12aの上面とともに挟み込むクリップ部材15がスライド可能に設けられている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 直線状に延びる連結ロッドと、

この連結ロッドに対して1直線に展開されるとともに連結ロッドに平行な状態に折り畳まれるように、連結ロッドの各端部に、それぞれの一方の端部が回動可能に取り付けられた直線状に延びる一対の側部ロッドと、

各側部ロッドが連結ロッドに平行するように折り畳まれた際に、連結ロッドの長手方向の中央部に対応し得るように各側部ロッドにそれぞれ取り付けられた一対のフック部材と、

各側部ロッドに、その長手方向に沿ってスライド可能にそれぞれ取り付けられており、各側部ロッドともに、吊り下げられる物体をそれぞれ挟み込むようになった一対のクリップ部材と、

を具備することを特徴とするハンガー。

【請求項2】 前記各側部ロッドには、連結ロッドとほぼ等しい長さのロッド本体部と、各ロッド本体部における連結ロッドの遠方側にて180°にわたって屈曲されて、各ロッド本体部の長手方向中央部にそれぞれの先端部が位置するように、各ロッド本体部に沿ってそれぞれ配置されたアーム部とが一体的に設けられており、各アーム部の先端部にフック部材がそれぞれ取り付けられている請求項1に記載のハンガー。

【請求項3】 前記各クリップ部材は、各側部ロッドにおけるロッド本体部の上面に沿ってスライド可能にそれぞれ取り付けられている請求項2に記載のハンガー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、洗濯物を乾燥させる際に、洗濯物を吊り下げるため等の用途に使用されるハンガーに関し、特に、シーツ、カーテン等のシート状の洗濯物等を比較的小さな空間において吊り下げることができるハンガーに関する。

【0002】

【従来の技術】特開平9-51997号公報には、シーツ等のシート状の洗濯物を乾燥させるために使用されるハンガーが開示されている。この公報に開示されたハンガーは、展開することによって1直線になるとともに、相互に平行になるように折り畳まれるようになった3本のロッドが設けられており、各ロッドに、シーツ等のシート状の洗濯物が吊り下げられるピンチがそれぞれ取り付けられている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このような構成のハンガーは、各ロッドに取り付けられたピンチによってシーツ等のシート状洗濯物をクリップして吊り下げる必要があり、従って、シート状の洗濯物を吊り下げる作業が煩わしいという問題がある。特に、大判のシート状洗濯物の場合には、各ピンチにてシート状洗濯物をクリップするときに、洗濯物が地面等に接触しないように保持する

ことは容易でなく、シート状洗濯物を汚すおそれがある。

【0004】本発明は、このような問題を解決するものであり、その目的は、シーツ等のシート状の洗濯物等を、簡単な作業で容易に吊り下げることができ、しかも、シート状洗濯物等を地面等に接触して汚すおそれのないハンガーを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明のハンガーは、直線状に延びる連結ロッドと、この連結ロッドに対して1直線に展開されるとともに連結ロッドに平行な状態に折り畳まれるように、連結ロッドの各端部に、それぞれの一方の端部が回動可能に取り付けられた直線状に延びる一対の側部ロッドと、各側部ロッドが連結ロッドに平行するように折り畳まれた際に、連結ロッドの長手方向の中央部に対応し得るように各側部ロッドにそれぞれ取り付けられた一対のフック部材と、各側部ロッドに、その長手方向に沿ってスライド可能にそれぞれ取り付けられており、各側部ロッドともに、吊り下げられる物体をそれぞれ挟み込むようになった一対のクリップ部材と、を具備することを特徴とする。

【0006】前記各側部ロッドには、連結ロッドとほぼ等しい長さのロッド本体部と、各ロッド本体部における連結ロッドの遠方側にて180°にわたって屈曲されて、各ロッド本体部の長手方向中央部にそれぞれの先端部が位置するように、各ロッド本体部に沿ってそれぞれ配置されたアーム部とが一体的に設けられており、各アーム部の先端部にフック部材がそれぞれ取り付けられている。

【0007】前記各クリップ部材は、各側部ロッドにおけるロッド本体部の上面に沿ってスライド可能にそれぞれ取り付けられている。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を、図面に基いて説明する。

【0009】図1は、本発明のハンガーの実施の形態の一例を示す斜視図、図2はそのハンガーを展開した状態の平面図、図3は、その正面図、図4は、その底面図、図5は、その側面図である。

【0010】このハンガー10は、例えば、水平状に架設された物干し竿21に吊り下げられて、シーツ等のシート状の洗濯物を吊り下げるために使用される。ハンガー10は、合成樹脂によって直線状に構成された連結ロッド11と、この連結ロッド11の各端部にそれぞれ連結された一対の側部ロッド12とを有している。

【0011】連結ロッド11は、平坦な上面と、垂直な各側面とを有する断面長方形状に構成されている。

【0012】連結ロッド11の各端部に取り付けられた各側部ロッド12は、それぞれ同様の形状および大きさになっており、それぞれの一方の端部が、連結ロッド1

1の各端部に対して、垂直な連結ピン13によって、それぞれ水平方向への回動可能に取り付けられている。従って、各側部ロッド12は、連結ロッド11とともに1直線に展開されるとともに、各連結ロッド11とはそれぞれ平行な状態に折り畳まれるようになっている。

【0013】側部ロッド12は、連結ロッド11の長さに等しい長さにわたって直線状に延びるロッド本体部12aと、このロッド本体部12aにおける連結ロッド11の遠方側において、ロッド本体部12aに連続して上方に湾曲されて、ロッド本体部12aに沿って180°にわたって反転されたアーム部12bとを有しており、ロッド本体部12aおよびアーム部12bが、合成樹脂によって一体的に形成されている。アーム部12bは、湾曲部からロッド本体部12aの1/2の長さにわたって直線状に延出しており、アーム部12bの先端部は、ロッド本体部12aの長手方向中央部に位置している。このアーム部12bの先端部には、フック部材14が、それぞれ、取り付けられている。各フック部材14は、それぞれ同様の構成になっている。

【0014】フック部材14は、側部ロッド12におけるアーム部12bの先端部から直線状に延出して、アーム部12bの遠方側の先端部において円弧状に湾曲したフック本体部14aを有しており、フック本体部14aの基端部が、アーム部12bの先端部に、水平軸回りに回動し得るように取り付けられている。フック本体部14aの基端部近傍には、ストッパー14bの基端部が、水平軸回りに回動し得るように取り付けられている。ストッパー14bは、フック本体部14の基端部から、フック本体部14aの湾曲された先端部に向かって延出しており、その先端部は、フック本体部14aの湾曲した先端部に接近するように屈曲されて、フック本体部14aの先端部にスライド可能に係合している。フック本体部14aの先端部に係合されたストッパー14bの先端部は、フック本体部14aの先端部側に突出するように湾曲している。

【0015】ストッパー14bは、フック本体部14aの湾曲した先端部に係合された先端部が、フック本体部14aの先端側に向かって付勢されている。

【0016】側部ロッド12のロッド本体部12aは、上面および下面がそれぞれ平坦になっており、このロッド本体12aから湾曲部を介して連続するアーム部12bの上面および下面は、ロッド本体12aの下面および上面にそれぞれ連続して平坦になっている。側部ロッド12におけるロッド本体部12aは、上面および下面が左右の各側方に突出したフランジ部12dとなった断面I形状に構成されている。アーム部12bも同様に断面I形状になっている。

【0017】側部ロッド12のロッド本体部12aにおける上部には、クリップ部材15が、ロッド本体部12aの上面に沿ってスライド可能に取り付けられている。

このクリップ部材15は、ロッド本体部12aの上面に沿った平板状であって、各側部が上側のフランジ部12dに係合するようにそれぞれ屈曲されたスライド部15aと、このスライド部15aにおけるロッド本体部12aの上面に沿った上面部分から、連結ロッド11側に向かって延出した長板状の押圧部15bとを有している。押圧部15bは、スライド部15aの上面部分と一体になった板バネ状をしており、スライド部15aの近傍の基端部が上方に突出するように湾曲するとともに、先端部近傍部分が、下方に突出するように湾曲している。そして、押圧部15bの湾曲した先端部近傍が、ロッド本体部12aの平坦な上面に、押圧部15b自体のバネ力によって圧接されている。押圧部15bの先端部は、ロッド本体部12aの上面から離れるように上方に向かって傾斜している。

【0018】このような構成のハンガー10は、例えば、図6に示すように、洗濯されたシーツ22を乾燥させるために使用される。この場合、中央の連結ロッド11に対して、各側部ロッド12が1直線になるように、それぞれ展開される。そして、各側部ロッド12にそれぞれ設けられたフック部材14が、各側部ロッド12のアーム部12bに対して垂直になるように、それぞれ回動されて、水平状に架設された物干し竿21に対して、各フック部材14におけるフック本体部14aの湾曲した先端部がそれぞれ係合される。

【0019】各フック部材14は、フック本体部14aとストッパー14bとを相互に接近させた状態で、フック本体部14aにおける円弧状に湾曲した先端部を物干し竿21にそれぞれ係合させて、各フック部材14のストッパー14bを解放すると、フック本体部14aに対して離れるように付勢されたストッパー14bが、フック本体部14aから離れて、フック本体部14aが係合された物干し竿21の外周面にそれぞれ圧接される。これにより、各フック本体部14aの湾曲した先端部とストッパー14bの先端部とによって、物干し竿21が強く挟まれた状態になり、従って、各フック部材14は、物干し竿21に対してスライドしない状態でそれぞれ固定される。

【0020】このような状態で、ハンガー10にシーツ22が吊り下げられる。シーツ22をハンガー10に吊り下げる際には、まず、各側部ロッド12のロッド本体部12aにそれぞれ設けられた各クリップ部材15を、連結ロッド11に対して最も遠方側にそれぞれスライドさせておく。そして、シーツ22を幅方向中央部に沿って二つ折りにして、連結ロッド11および各側部ロッド12のロッド本体部12aに被せて、シーツ22における二つ折りにされた部分が、1直線になった連結ロッド11および各側部ロッド12のロッド本体部12aに沿うように、シーツ22全体を整える。これにより、シーツ22は、1直線になった連結ロッド11および各側部

ロッド12のロッド本体部12aにて支持される。

【0021】その後、各側部ロッド12のロッド本体部12a上に設けられた各クリップ部材15を、連結ロッド11に向かってスライドさせる。そして、各ロッド本体部12a上に位置するシート22の側縁部中央部上に、各クリップ部材15の押圧部15bを位置させて、各押圧部15bの先端部と各ロッド本体部12a上面とによって、シート22の側縁部を挟み込む。これにより、シート22の各側縁部中央部が、各クリップ部材15によって各側部ロッド12のロッド本体部12a上にそれぞれクリップされた状態になり、シート22は、風等によって、ハンガー10から脱落することなく、支持される。

【0022】このような状態になると、物干し竿21に係合された各フック部材14が、相互に接近するように物干し竿21に沿ってスライドされて、図7に示すように、結ロッド11に対して各側部ロッド12が、それぞれ適当な角度に傾斜した状態とされる。この場合、シート22は、連結ロッド11および各側部ロッド12に支持された状態で円滑に折り込まれる。

【0023】連結ロッド11に対して各側部ロッド12がそれぞれ傾斜した状態になると、各フック部材14は、各側部ロッド12におけるロッド本体部12aの長手方向中央部上に位置しているために、連結ロッド11の長手方向中央部、および、各側部ロッド12におけるロッド本体部12aの長手方向中央部が、それぞれ物干し竿21の下方に位置しており、シート22が吊り下げられたハンガー10は、物干し竿21に対してバランスよく安定的に吊り下げられている。

【0024】各側部ロッド12は、連結ロッド11と同じ長さのロッド本体部12aに連続して、連結ロッド11の半分の長さのアーム部12bが湾曲部を介してそれぞれ設けられているために、連結ロッド11の同じ長さの各ロッド本体部12aの全体を、それぞれ、シート22を支持するために使用することができる。従って、連結ロッド11と各側部ロッド12のロッド本体部12aの全長にわたる長さの大判のシート22を吊り下げることができる。また、各側部ロッド12のロッド本体部12aには、各クリップ部材15が、各ロッド本体部12aのほぼ全長にわたってスライドし得るように設けられているために、シート22が小さくても、風等によって飛ばないように、各クリップ部材15にてシート22を確実にクリップすることができる。

【0025】ハンガー10を使用しない場合には、図8

に示すように、連結ロッド11に対して各側部ロッド12が平行になるように折り畳まれる。また、各フック部材14も、各側部ロッド12のアーム部12bに沿った状態に回転される。これにより、ハンガー10は、コンパクトに折り畳まれ、小さなスペースにて格納することができる。

【0026】なお、上記実施の形態では、各側部ロッド12は、連結ロッド11と同じ長さのロッド本体部12aに連続してアーム部12bを設けて、そのアーム部12bの先端部にフック部材14をそれぞれ取り付け構成であったが、各側部ロッド12を連結ロッド11の半分の長さとして、その先端部にフック部材14をそれぞれ直接取り付けようにしてもよい。また、連結ロッド11自体も、折り畳み可能に構成してもよい。

【0027】

【発明の効果】本発明のハンガーは、このように、大判のシート状物体を、地面等に接触させることなく、容易に吊り下げることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のハンガーの実施の形態の一例を示す斜視図である。

【図2】そのハンガーを展開した状態の平面図である。

【図3】そのハンガーの正面図である。

【図4】そのハンガーの底面図である。

【図5】そのハンガーの側面図である。

【図6】そのハンガーの使用状態を示す斜視図である。

【図7】そのハンガーの使用状態を示す斜視図である。

【図8】そのハンガーを折り畳んだ状態を示す斜視図である。

【符号の説明】

10 ハンガー

11 連結ロッド

12 側部ロッド

12a ロッド本体部

12b アーム部

13 連結ピン

14 フック部材

14a フック本体部

14b ストッパー

15 クリップ部材

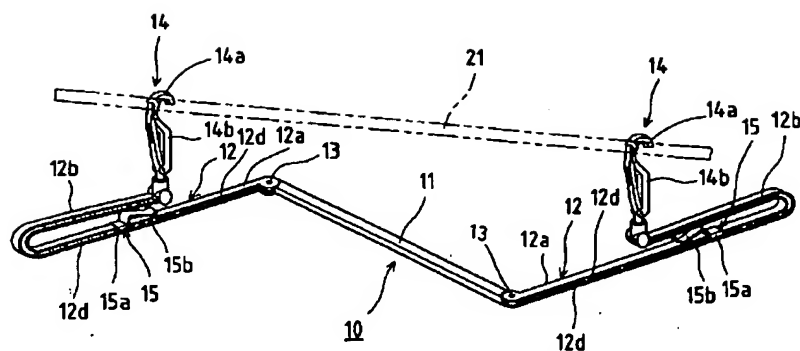
15a スライド部

15b 押圧部

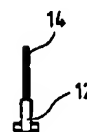
21 物干し竿

22 シーツ

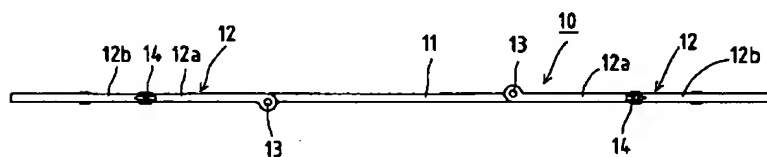
【図1】



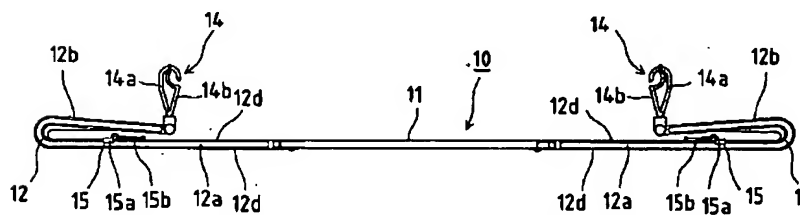
【図5】



【図2】



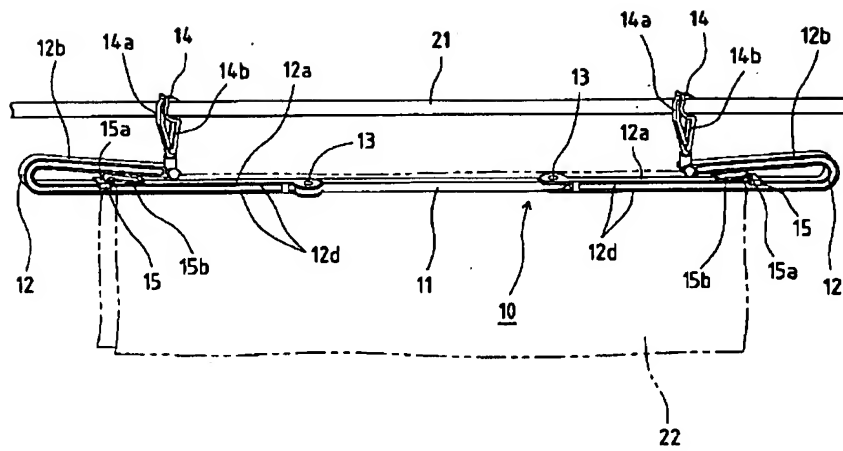
【図3】



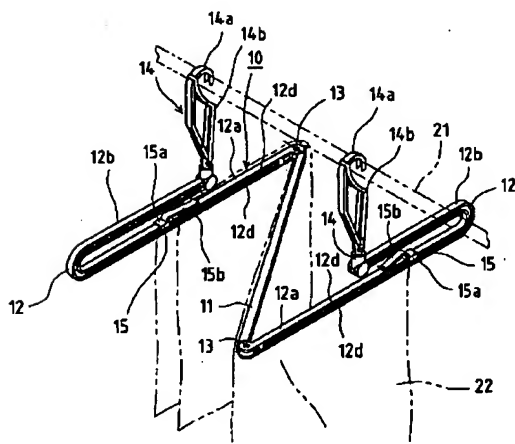
【図4】



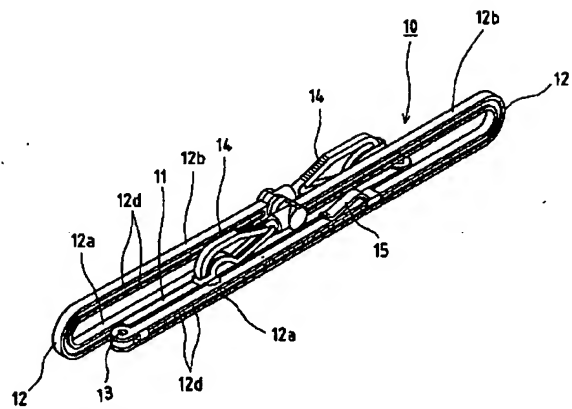
【図6】



【図7】



【図8】



DERWENT-ACC-NO: 2000-604630

DERWENT-WEEK: 200058

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

**TITLE: Hanger for clothes such as sheet, curtain, has hooks and
slidable clips attached to two side rods whose one end
are respectively attached to either ends of connection
rod**

PATENT-ASSIGNEE: SEKISUI JUSHI KK[SEKQ]

PRIORITY-DATA: 1999JP-0014770 (January 22, 1999)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-
IPC				
JP 2000210497 A	August 2, 2000	N/A	006	D06F
057/00				

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2000210497A	N/A	1999JP-0014770	January 22,
1999			

INT-CL (IPC): D06F057/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2000210497A

BASIC-ABSTRACT:

**NOVELTY - One end of side rods (12) are rotatably attached to either ends
of
connection rod (11). Hooks (14) are attached respectively to the two side
rods. Slidable clips (15) which are attached respectively to the two side
rods, are used for holding clothes.**

USE - For hanging clothes such as sheet, curtain.

ADVANTAGE - The clothes are hung in such a way that it does not contact the ground.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the perspective view of hanger.

Connection rod 11

Side rod 12

Hook 14

Clip 15

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/8

**TITLE-TERMS: HANGER CLOTHING SHEET CURTAIN HOOK SLIDE CLIP
ATTACH TWO SIDE ROD
ONE END RESPECTIVE ATTACH END CONNECT ROD**

DERWENT-CLASS: F07

CPI-CODES: F03-J01;

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C2000-181285